

関自保第292号

令和7年12月26日

一般社団法人 千葉県トラック協会会長 殿

国土交通省

関東運輸局 自動車技術安全部長

(公印省略)

トラック運転者に対する飲酒運転防止の徹底について

本年9月に策定した関東地域事業用自動車安全施策2025において、運送事業者の飲酒運転0件を目標としたところですが、施策策定後も、別紙のとおり4件ものトラックの飲酒運転事案が、国土交通省に報告されています。

12月23日に発生した、新東名高速道路（愛知県新城市）での管内トラック事業者による酒気帯び横転事故については、詳細は不明ですが、運転者は出庫後に飲酒を行った可能性があり、この場合は業務前点呼を実施しても飲酒運転の発生を防止することはできません。

飲酒運転は重大な違反行為であり、運送事業全体の社会的信用を失墜するものです。トラック運送事業者におかれましては、今一度運転者に飲酒運転の危険性を強く認識させ、撲滅に取り組んでいただくよう、貴会会員に対し周知徹底をお願いします。

番号	発生日	曜日	時刻	事故等の種類	当 時 の 状 況
1	R7.9.24	水	19:45	衝突	茨城県古河市の国道を運行中、トラックが黄色信号を直進で交差点に進入したところ、対向方向より右折してきた軽自動車と接触しそうになり、ハンドルを右に切って回避しようとしたものの、相手車体左後方と接触した。警察による事故処理の際、アルコールチェックを行い酒気帯び運転が発覚した。
2	R7.9.28	日	14:00	衝突	宮城県黒川郡付近道路を運行中、トラックが縁石及び電柱に衝突した。警察官立ち会いによる事故車両見分の際、警察官が当該運転者の酒の臭いに気づきアルコール検査を実施したところ、酒気帯び運転が発覚した。
3	R7.10.17	金	4:45	衝突	埼玉県さいたま市のコンビニエンスストア敷地内において、トラックが後退した際、駐車中の自動車に接触した。 警察官が到着した際、当該運転者が酒臭かったためアルコール検査を実施したところ、アルコールが検出され酒気帯び運転が発覚した。
4	R7.12.23	火	23:30	横転	愛知県新城市の新東名高速下り線・雁峰第二トンネルを運行中、トラックがトンネル左側面に接触し、その勢いで前方右側を走行していた乗用車に衝突し横転した。 事故処理にあたった警察官が、当該運転者から酒の臭いがしたためアルコール検査を実施したところ、アルコールが検出され酒気帯び運転が発覚した。

※令和7年12月25日現在において、運送事業者からの報告により国土交通省が把握しているもの